

令和元年度 水道事業 決算

企業経営課
☎27913

経費削減に努めた結果、黒字を維持することができました。
引き続き健全経営に努めるとともに、今後は老朽化した施設の更新を計画的に進めます。

■水道事業

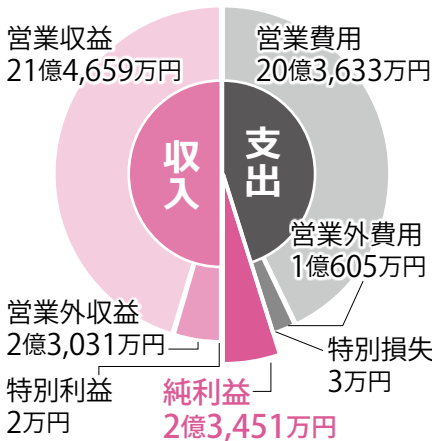
- ・配水量……2,241万^m
- ・1日平均……6万1,236^m
- ・1日1人平均……426^l

■工業用水道事業

- ・契約事業所数……11事業所
- ・契約給水量(日量)…2万2,608^m

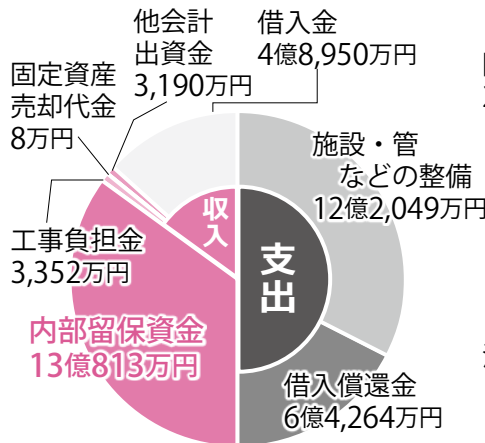
水をお届けするための収入・支出

収入総額 23億7,692万円
支出総額 21億4,241万円



水道施設をつくるための収入・支出

収入総額 5億5,500万円
支出総額 18億6,313万円



貸借対照表

借方	貸方
固定資産 230億3,062万円	固定負債 47億5,056万円
流動資産 36億1,786万円	流動負債 11億9,487万円
	繰延収益 39億1,959万円
	資本金 128億4,922万円
	資本剰余金 9億3,160万円
	利益剰余金 30億264万円
合計 266億4,848万円	

※内部留保資金には、減価償却費などが充てられています。

※貸借対照表とは、年度末における事業の資産、負債および資本などの財政状態を示す報告書です。

市内の市民団体や企業などが主催して行う事業のうち、市制100周年記念事業実施基本方針に沿う事業について、『足利市制100周年記念協賛事業』を冠することができ、対象は市内に居住、または勤務する方で構成されている団体や市内に住所を有する事業者などが主催する事業のうち、市民が自由に参加でき、市制100周年を広く内外に周知する事業

期間 1月1日(金)から令和4年3月31日(木)までに実施する事業

使用方法 事前に右記QRコードの市ホームページ内にある入力フォームから事業概要を報告



A100 足利市制100周年記念協賛事業
One for A, A for One.

ご活用ください！
市制100周年記念協賛事業の名義

お知らせ

※名義使用ガイドラインに記載されている内容を守りいただいた上、市の許諾を得ず無償で使用できません。

市による広報活動への協力

- ▽広報活動に使用できる専用の文字データの提供
- ▽事業のホームページなどがある場合、市SNSでの事業の告知

新たな旅立ち 成人式

青少年センター・☎22227

日時 1月10日(日)午後1時30分

場所 各地域の公民館など

対象 平成12年4月2日から13年4月1日までに生まれた方

▼次の方は12月4日(金)までに電話で同センター

▽市内在住者で市内の別の会場での出席を希望する方

▽他の市区町村に住民票を移している本市出身者で、本市の成人式

に出席する方

成人式に出席する方



11月15日(日)は投票日です!

栃木県知事選挙



選挙管理委員会

☎202236

告示・立候補届出日 10月29日(木)
投票日時 11月15日(日)／午前7時～午後7時

投票所入場券 各世帯に郵送します。切り離して入場券に記載の投票所へ持参

※紛失した場合は、投票所で再発行できます。

投票できる方

▽年齢要件 平成14年11月16日以前に生まれた方

▽住所要件 告示日前日に3カ月以上本市の住民基本台帳に登録されている方

不在者投票

①指定の病院や老人ホームに入院、入所している方 ②その施設で

期日前投票

市役所市民ホール(本庁舎1階)
10月30日(金)～11月14日(土)
午前8時30分～午後8時

各公民館
11月9日(月)～13日(金)
午前8時30分～午後5時

コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)
11月7日(土)～14日(土)
午前10時～午後7時

持ち物 投票所入場券
※未着の場合は不要です。
※入場券の裏面に宣誓書が印刷されていますので、事前に記入のうえ、ご持参ください。



●開票(即日開票)
時間 午後8時5分から
会場 市民体育館
※自由に参観できます。

●選挙公報
配布方法 新聞折り込み
※市役所市民ホール、各公民館、市民会館、市民プラザ、市民体育館、生涯学習センター、各幸楽荘および市ホームページでも入手可。

至誠 通天

市長コラム No.083



和泉 聡

思考の筋肉を鍛える

リベラルアーツという言葉を書き出すと『一般教養』という訳が出てきます。もともとの語源は、古代ギリシャまでさかのぼり『人間が奴隷ではない存在すなわち自由人であるために必要とされる学問を意味』し、自由七科(文法、修辞学、論理学、算術、幾何、天文学、音楽)がその内容で、一般教養という語感よりは、奥が深い意味をもっています。

以上の説明は、たまたま出会った『大人になるためのリベラルアーツ』思考演習12題(石井洋二郎、藤垣裕子著、東京大学出版会)という本から引用させてもらいました。

コロナ禍の中、経済優先か感染拡大防止優先か、といった点を含め、簡単には答えの出ない問題に私たちは直面しています。考えてみれば世の中には絶対的な正解などない、という問

題はたくさんあります。そういう問題について、東大生たちが議論を展開したその記録がこの本に収められています。

第10回目の問題提起は『絶対に人を殺してはいけないか』。論点として『あなたは死刑制度に賛成か、反対か。その理由は?』『戦争状態で人を殺すことは正当化されるか』『あなたは安楽死に賛成か反対か』などがあげられていて、なるほど、その人が持つ価値観などによって意見が異なる問いが並んでいます。

著者は本の冒頭で、自由で柔軟な発想をもつ人間になるには思考の限界を乗り越えなければならず、そのためには「ひたすら本を読み、教員や友人たちと議論し、他者の言葉と格闘することによって、いわば『思考の筋肉』そのものを鍛えるしかない」と述べています。良いまちなるには市のあちこちで、思考の筋肉強化につながる活発な議論が行われる。そのきっかけづくりをするのも、また私の大切な役割だと思ったのでした。

Pick Up! お知らせ

税 福祉 募集 子育て 健康 働く 講座・教室 イベント 施設 相談